

第2学年 音楽科学習指導案

平成28年10月18日（火）第5校時
場所 音楽室

1 題材名 歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫しよう

2 生徒の実態と本題材の意図

(1) 生徒の実態

生徒たちは、“合唱の須賀”という伝統に自負を持ち、日々の授業、諸行事における合唱活動に大変意欲的に取り組んでいる。ここに事前に行ったアンケートの結果を示す。

Q あなたは合唱が好きですか。

(各学年の回答結果の後に、「はい」と答えた生徒の理由の一部を示す。)

1年生 **はい68%** いいえ8% どちらともいえない24%

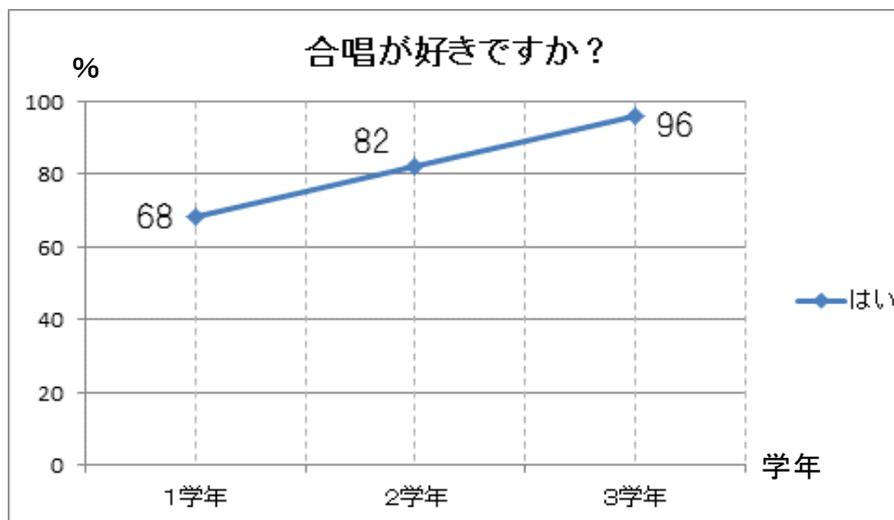
- ・皆と心を合わせることができ、その素晴らしさを実感できる。
- ・歌詞の意味を考え、想像するのが楽しい。
- ・きれいな響きが作れた時や、ハーモニーがきまった時に感動できる。
- ・練習の度に上手くなっていくのが実感できる。大きな声で歌うと気持ちがよい。

2年生 **はい82%** いいえ3% どちらともいえない15%

- ・仲間との一体感、響きの素晴らしさを感じることができる。
- ・詩を読みイメージする授業が楽しい。その曲の素晴らしさをより感じとることができる。
- ・とにかく歌うことが好き。合唱は一人一人の存在感を強く感じる。
- ・歌うととても気持ちがよい。スッキリする。

3年生 **はい96%** いいえ0% どちらともいえない4%

- ・皆で合わせた時の鳥肌になる感動や涙が出るくらい全力になれる須賀中の合唱が好き。
- ・難しいところが歌えたときの達成感が何とも言えないくらい嬉しい。
- ・歌はクラスを1つにする一番の手段、須賀中と言えば合唱と言える自信がある。
- ・音楽、歌の授業が好き。色々と細かくわかりやすく教えてもらえて嬉しい。楽しく学べる。
- ・歌がとにかく好き。曲の情景を想像しながら歌うことが楽しい。



前記のアンケート結果から、学年が上がるにつれ、合唱活動への高い関心が読み取れる。上級生が見本を示し、下級生たちは、その姿に憧れを抱きながら進級していく姿が本校の伝統となっていることがうかがえる。

本学級の生徒に目を転じると、生徒たちは総じて音楽活動に意欲的であり、自分の持つ力を伸び伸びと表現し合える学習集団を形成している。また、授業中に生徒たちは相互に助言や賞賛を積極的に行うこともできる。このような音楽学習における生徒たちのよさを踏まえて、実技テストなどの場における効果的な個別指導や評価（助言）を講じるなどして、個々の生徒がさらに自信をもって表現活動に取り組めるよう、教師の働きかけの充実を図る考えである。

(2) 題材設定の意図

本題材は学習指導要領との関連A表現（1）歌唱アに即して進めていく。

1年時は、個々のがんばりをたくさん賞賛し、自信のない生徒を励ましなが、大きな声で堂々と伸び伸び歌わせることを大切に指導してきた。入学半年後に中学校初めての合唱コンクールを迎える頃は、音楽的な質の向上を目指す生徒も増えてきた。例えば、豊かな声づくりや響きの調和に関心を示す生徒、歌詞の内容をよりよく理解し、どのように音楽表現すべきかを追求する生徒、などが見られるようになってきた。このような変容を見せた生徒たちに対して、2学年では、パートや学級全体で合唱作りに関する自己のイメージや思いを伝え合ったり、他者の意図に共感できるようにしたりするなどコミュニケーションを図ることを大切に指導している。

最終的には、合唱活動を通して、一人一人が合唱団の一員としての自覚と責任をもち、豊かな心で音楽表現できることを目指して今後の授業を展開する。

3 題材の目標

- (1) 歌詞の内容や曲想に関心をもち、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組む。
- (2) 歌詞の内容や曲想を味わい、表現したい思いや意図をもって歌う。
- (3) 歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。

4 教材について

混声部分四部合唱「地球の詩」 三浦真理作詞／三浦真理作曲

「風はきまぐれ」と始まる歌詞は、空を飛行しながら山や河を越え、世界中を旅して自然界を謳歌しているような雰囲気である。また、中盤以降は、優しく励ますような内容も含まれ、「信じ合い、夢見て、さあ歌おう」という歌詞から、仲間と共に夢に向かって力強く進んでいくイメージをできる終末となる。音楽的には、斉唱から始まり、2部、3部、4部合唱と次第にハーモニーの厚みが増していき、旋律の上昇とともに自然とクレシェンドできる曲である。跳躍進行による広がりから、歌詞のイメージをふくらませやすいことも生徒にとって親しみやすい楽曲であると考えている。

5 学習指導要領の指導事項と〔共通事項〕ア・イの関連及び具体的な学習活動

指導事項	表現ア 歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌うこと。			
〔共通事項〕	ア	速度 リズム	旋律 テクスチャ	強弱
	イ	Moderato  Meno mosso 3連符	フレーズ 和音	mP m f f f f crescendo
具体的な学習活動	リズムや速度の変化を感じ取って歌う。	音楽のまとまりを感じ取り、言葉と音楽のかかわりを大切にしながら歌う。	強弱の変化を理解し、表現を工夫しながら歌う。	

6 評価規準

	ア 音楽への意欲・関心・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能
題材の評価規準	①歌詞の内容や曲想に関心をもち、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	①どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもち、歌詞の内容や曲想にふさわしい音楽表現を工夫している。 ②歌詞の内容や曲想を味わい、それに対する自己のイメージを膨らませて音楽表現を工夫している。	①歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。
1時	①		
2時	①		
3時 (本時)		①	①
4時		②	①

7 指導と評価の計画（全4時間）

時	○学習内容 ・主な学習活動	○指導上の留意点 ☆評価規準
1	○曲全体の雰囲気や歌詞の内容や曲想を意識して歌う。 ・リーダーを中心に、音取り係と拍係を決めて、音取りをする。	○パート練習の様子を巡回し、音取りに関して適宜助言をする。 ☆歌詞の内容や曲想に関心をもち、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。ア①（活動観察、ワークシート）
2	○曲全体の雰囲気や歌詞の内容や曲想を味わい、合唱する。 ・曲全体を通して歌い、音取りが不十分な箇所をパートごとに部分練習する。 ・パート練習の成果を発揮して合唱し歌い、他パートとのハーモニーを味わう。	○パート練習の様子を巡回し、音取りに関して適宜助言をする。 ○速度や強弱に関する記号や用語を生かして歌うよう助言する。 ☆歌詞の内容や曲想に関心をもち、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。ア①（活動観察、ワークシート）

3 本時	<p>○歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して合唱する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの合唱を聴き、課題、工夫したいことを挙げる。 ・詩の内容と音楽を形づくっている要素に着目し、どのように表現したいかを述べ合う。 ・話し合い活動で出し合った表現内容をもとに、曲想にふさわしい歌い方を工夫して歌う。 	<p>○譜面上にある音楽に関する諸記号と旋律の流れとの関連に気付かせる。</p> <p>○歌詞のイメージ画を示しながら詩の内容やイメージを膨らませる。</p> <p>☆どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもち、歌詞の内容や曲想にふさわしい音楽表現を工夫している。イ①（活動観察）</p> <p>☆歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。ウ①（活動観察）</p>
4	<p>○今までの練習を振り返り、音楽表現を高めるために工夫して合唱する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指揮、伴奏を立て、これまでの学習の成果を表現する。 ・各パートリーダーに自分たちの合唱を聴かせ、自分たちの合唱の課題に気付かせる。 ・各パートリーダーを中心にどのように改善していくか、計画を立てて練習する。 	<p>○今までの練習を振り返り、声部の役割と全体の響き、歌詞の内容や曲想について、工夫したいところを見つける。</p> <p>○練習計画を立て、合唱コンクールまでの高めたい点を明確化する。</p> <p>☆歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。ウ①（活動観察）</p> <p>☆歌詞の内容や曲想を味わい、それに対する自己のイメージを膨らませて音楽表現を工夫している。イ②（活動観察、ワークシート）</p>

8 本時の学習指導（本時3 / 4時）

(1) 本時の目標

- ・歌詞の内容や曲想を味わい、思いや意図をもって、表現を工夫する。

(2) 展開

過程	時間	○学習内容 ・主な学習活動	◎指導上の留意点 ☆評価規準 ○評価方法
導入	10分	<p>○ねらいをつかみ、学習の雰囲気づくりをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>《本時のねらい》 歌詞の内容や曲想にふさわしい表現を工夫する。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・板書された本時のねらいを自己評価シートに書き写す。 ・身体をリラックスさせ、発声する。 ・既習曲を合唱する。 	<p>◎適宜助言をしながら歌う雰囲気づくりを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パートリーダーを中心に、パート内の雰囲気を大切にしながら、マッサージや発声練習を行わせる。

展 開	30 分	<p>○歌詞の内容や曲想について、曲にふさわしい表現を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時に録音した演奏を聴く。 ・課題点を楽譜にメモする。 ・気づきを挙手、発表する。 ・発表内容を楽譜に記入する。 ・曲想の変化に着目し、それにふさわしい表現方法を見出す。 <p>○曲にふさわしい表現になるようパートごとに工夫して歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4パートに分かれて、気付いた課題を改善するために工夫した部分を練習する。 <p>○曲にふさわしい表現になるように工夫して合唱する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習の成果として合唱する。 	<p>◎客観的に聴き、新たな課題や工夫したい点に気付かせる。また、気づきが困難な場合には、周囲と相談しながら課題を挙げさせる。</p> <p>◎曲想の変化とその表現方法について気付かせる。</p> <div data-bbox="858 450 1398 629" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>曲想について気付かせたい箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泣かないで笑っての中間部分 ・男女が互いに先行して歌う部分 ・終盤の高まり ・前半のフレーズ感 </div> <p>評価場面1</p> <p>☆どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもち、歌詞の内容や曲想にふさわしい音楽表現を工夫している。イ①</p> <ul style="list-style-type: none"> ○挙手の状況観察と発言内容の聴き取り ○自己評価シートの観察 <p>◎パート練習を巡回し、適宜補佐を行う。</p> <p>評価場面2</p> <p>☆歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。ウ①（活動観察）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒の歌唱状況の聴き取り ○自己評価シートの達成度と感想の観察 <p>◎本時の学習を振り返り、教師による具体的な評価を伝え、次時への意欲をもたせる。</p>
ま と め	10 分	<p>○本時のまとめ、振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の達成度、感想を自己評価シートに記入する。 	<p>◎本時の学習を振り返り、教師による具体的な評価を伝え、次時への意欲をもたせる。</p>